



岡山産業保健推進センター

《おかやまさんぽメールマガジン》 第30号 2010年8月2日(月)

発行 岡山産業保健推進センター 所長 石川 紘



I N D E X

1 相談員アドバイス

『インフルエンザ・・・今年に入って起こっていること』

メンタルヘルス相談員 勝田 吉彰

2 センターからのお知らせ(相談・研修・行事案内・新規教材)

3 トピックス

*メンタルヘルス対策支援センターのご案内

4 産業保健相談 回答例

*新型インフルエンザに質問!

5 編集後記

1 相談員アドバイス

『インフルエンザ・・・今年に入って起こっていること』

メンタルヘルス相談員 勝田 吉彰

このところ、インフルエンザの集団発生のニュースがポツリポツリと聞こえてくる。防衛大の集団発生1)、沖永良部島の集団発生2)、さらに、鯖江市の学級閉鎖では、福井県の定点あたり届け出数を、流行の目安となる1を上回る1.03まで押し上げてしまった3)。

とはいえ、岡山県内では新型インフルエンザはシーズンオフという認識で間違いない。マスメディアでインフルエンザについて報じられることはほとんどない。だが、昨シーズン以降、海外ではいくつか注目すべき報道もあるので、紹介してゆこう。

1. インドで起こっていること

ちょうど昨年今ごろ、日本で展開していた光景がインドで今まさに現在進行形で展開している。インド南部から H1N1 型の流行が始まり、保健大臣が TV 画面に登場して「落ち着いて行動してください！」と平静を呼びかけ、州境では“水際作戦”もどきの事が行われたりしている。主要紙には「〇〇で〇人死亡」「〇△で〇〇人集団発生」と毎日のように洪水報道が流れている。

さて、この様子から教訓。2 回目といえども、病原性の低さがわかったといえども、流行しだしたら人心は安定しないかもしれないということだ。

パニックや流言の流布を抑えるのは、正確な情報のこまめな発信がカギになる。本メールマガジン読者の皆さんは、職場の保健衛生でリーダーシップをとる人々だと思う。シーズンオフの今からしっかりアンテナを立て、産保センターもうまく利用しながら、次の流行ではしっかり情報提供して職場の安定に寄与してほしい。

なお、インドの流行からは、症状で発熱が目立たなくなり、咽頭痛や背部痛が目立ってきているという報もある。頭の片隅に置いておきたい4)。

2. 南半球で起こっていること

北半球とは季節が逆になる南半球、ちょうどこれからがシーズンだ。WHO が「パンデミック」の看板を降ろせないのも、これから南半球の状況がどうなるか予断を許さず8月まで状況を見るためだという。

幸い、今のところ、散发例の発生が報じられるぐらいで、オーストラリアもニュージーランドも本格的流行には至っていない。これらの国で報じられているのは、ワクチンのトラブル。オーストラリア CSL 社が製造したインフルエンザワクチンを接種した子供たちに発熱とけいれんの副反応が続発し、犠牲者も1名出てしまった。この事態を受けて、オーストラリア当局は5歳未満児へのワクチン接種を中止し、ハイリスク群だけ担当医と相談の上で実施という方針を打ち出した。その後の調査

により CSL 社製造過程の不備なども指摘され、原因は同社の問題となりそうな風向きだが（そうなれば同社のワクチンを輸入する可能性が想定されない日本にとって直接の脅威というわけではなくなるが）、最終結論は出ていない。ちょっと気になるニュースだ。

3. 来季のワクチン

来季のワクチンは、WHO の勧告にもとづき、新型（H1N1）と季節性（H3N2）と B 型が合わさった 3 価ワクチンとなることが決定している。

すなわち、1 回の接種で、季節性、新型の両方接種済ませられることになる。参考まで、WHO の推奨株は
A/California/7/2009 (H1N1)-類似株
A/Perth/16/2009 (H3N2)-類似株
B/Brisbane/60/2008-類似株
となっている。

参考

1)

[http://
medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/special/pandemic/topics/201006/515730.html](http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/special/pandemic/topics/201006/515730.html)

2)

[http://
medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/special/pandemic/topics/201007/516041.html](http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/special/pandemic/topics/201007/516041.html)

3)

[http://
medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/special/pandemic/topics/201007/516044.html](http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/special/pandemic/topics/201007/516044.html)

4)

[http://
medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/special/pandemic/topics/201007/515941.html](http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/special/pandemic/topics/201007/515941.html)

■勝田吉彰相談員の研修・セミナー情報■

日 時： 8/09（月）14：00～16：00

研修テーマ： 『発達障害』

内 容： 発達障害／多動性障害ケースの接し方など

講 師： 勝田相談員

日 時： 9/06（月）14：00～16：00

研修テーマ： 『新型インフルエンザの最新動向とメンタル対策』

内 容： 新型インフルエンザ、メンタル面を含めた最新動向

講 師： 勝田相談員

参加は無料です。皆様の産業保健活動に是非、お役立て下さい。

産業医研修会・セミナーのお申込はこちらからどうぞ

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

2 センターからのお知らせ（相談・研修・行事案内・新着教材）

■ 産業医研修会 ■

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

対 象 者：

日医認定産業医

基礎研修の単位は取れないが、参加を希望する医師

職場の健康管理に関わる保健師・看護師等産業看護職および人事労務担当者等

受 講 料： 2,000 円

場 所： 岡山労災病院 3階会議室

日 時： 9/16（木）19：00～21：00

研修テーマ： 『職場におけるメンタル対応の大原則・原則－休業から復職編－』

『職場でよくあるメンタル対応Q&A－休業から復職編－』

*グループディスカッション

講 師： 植嶋 一宗（岡山大学院 疫学・衛生学分野）

高尾 総司（岡山大学院 疫学・衛生学分野 講師）

単 位： 生涯研修 専門研修 1 単位 実地研修 1 単位

日 時： 10/14（木） 19：00～21：00

研修テーマ： 『書式を用いたメンタル対応による人事労務担当者との協力の仕方』
『実習： 〃 』

講 師： 岩瀬 敏秀（岡山大学院 疫学・衛生学分野）
高尾 総司（岡山大学院 疫学・衛生学分野 講師）

単 位： 生涯研修 専門研修 1 単位 実地研修 1 単位

日 時： 11/18（木） 19：00～21：00

研修テーマ： 『メンタルヘルス対応における産業医面談の進め方、
産業医意見書の書き方』
『実習：産業医面談のロールプレイ・
産業医意見書を実際書いてみる』

講 師： 三橋 利晴（岡山大学院 疫学・衛生学分野 非常勤研究員）
高尾 総司（岡山大学院 疫学・衛生学分野 講師）

単 位： 生涯研修 専門研修 1 単位 実地研修 1 単位

メールフォームでのお申込は

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/form-sangyoui.html>

F A Xでのお申込は

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/pdf/mousikomi/sangyouifax.pdf>

■ 岡山産業保健推進センター主催セミナー・研修会 ■

場 所： 岡山第一生命ビルディング 3 階 共用会議室

受 講 料： 無料

産業医研修会・セミナーの情報・お申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

【健康管理研修会】

日 時： 8/16（月） 14：00～15：30
研修テーマ： 『睡眠時無呼吸症候群について』
内 容： 睡眠時の無呼吸症候群について解説します。
講 師： 中村相談員

日 時： 9/29（水） 14：00～16：00
研修テーマ： 『職場における新型インフルエンザ対策について』
内 容： 2009年4月に発生した豚由来の新型インフルエンザ（H1N1）および、強毒性の鳥インフルエンザについて産業保健の観点から職場における対策を解説する。
講 師： 山本相談員

【カウンセリング研修会】

日 時： 8/19（木） 14：00～16：00
研修テーマ： 『職場のメンタルヘルスとカウンセリングⅠ』
内 容： メンタルヘルスの講義と傾聴技法の講義。より良いコミュニケーションをとるために傾聴技法を身につけ職場のメンタルヘルスの予防に役立てる。
講 師： 武田相談員

日 時： 9/16（木） 14：00～16：00
研修テーマ： 『職場のメンタルヘルスとカウンセリングⅡ』
内 容： ロールプレイングを通して自分の聴き方の癖に気づく。
講 師： 武田相談員

【産業看護研修会】

日 時： 9/28（火） 14：00～16：00
研修テーマ： 『保健指導パートⅡ保健指導のロールプレイ』
内 容： ロールプレイを通してスキルアップをはかる
講 師： 福岡相談員
対 象： 産業看護職

産業医研修会・セミナーのお申込はこちらからどうぞ

<http://www.okayama-sanpo.jp/index.htm>

-
- ▼研修会の受付は3階共用会議室で行います。直接会議室へお越し下さい。
 - ▼今後、研修会開催場所に関しては変更になる可能性があります。
変更になった場合は、速やかに御連絡いたします。
 - ▼当センターの研修会、貸出教材、メールマガジン、ホームページの内容など各種事業に関する御意見、御要望を下記メールアドレスにEメールにて御遠慮なくお願いします。

E-mail : info@okayama-sanpo.jp

■新規教材■

- 02-112-1 安衛法便覧平成22年度版①法令編
- 02-112-2 安衛法便覧平成22年度版②様式・指針編
- 02-112-3 安衛法便覧平成22年度版③行政通達編
- 04-286 看護職のための産業保健入門

教材貸出はこちらから

⇒ <http://www.okayama-sanpo.jp/form-kasidasi.html>

3 トピックス

■メンタルヘルス対策支援センターのご案内■

働く人の健康を支援するため、「メンタルヘルス不調者等の労働者に対する相談機関による相談促進事業」（厚生労働省委託事業）が平成20年度からスタートしました。

当センター内に下記のとおり「メンタルヘルス対策支援センター」を開設し、「メンタルヘルス対策促進員」が皆様の職場を訪問します。

この事業は、メンタルヘルス対策への助言、相談機関の利用促進、職場でのメンタルヘルスケア向上等を目的としています。

例えばこんな御相談に対応させていただきます。

- *メンタルヘルス対策をどうすれば良いのかわからない。
- *メンタルヘルス不調と思われる者がいるが、どう対処すれば良いのか。
- *職場復帰させるにはどうすれば良いのか。
- *コミュニケーションをどうとれば良いのか。
- *社内でメンタルヘルス対策に対する体制を作りたいが、どうすれば良いのか。
- *メンタルヘルスに関して、従業員に理解させるのに良い方法はないか。
- *社内スタッフへの教育・研修はどうすれば良いのか。

詳しくは、

メンタルヘルス対策支援センターの御案内を御覧下さい。

<http://www.rofuku.go.jp/sanpo/eap/index.html>

岡山メンタルヘルス対策支援センターはこちら

<http://www.okayama-sanpo.jp/f-mental.html>

4 産業保健相談回答例

■新型インフルエンザに質問！■

①いつまで“新型”？

⇒ワクチンができ、普通に予防ができる様になり、普通の病気になれば“季節性”になる。

②感染してしまったら、何日休みを取るべき？

⇒発症から数えて7日、解熱から2日

③子供のインフルエンザ脳症を早く見つけるポイントは？

⇒普段と比べて様子がおかしくないか、見当識障害をチェック！「今、何時？ここはどこ？この人は誰？」時間、人、場所の把握があやしくなっていないかチェックする。

④赤ちゃんのインフルエンザ予防法は？

⇒とにかく、飛沫（せき、くしゃみ）をかけない様、細心の注意を！親、他の子供もマスクをかけて接すること！

産業保健相談はこちらから

<http://www.okayama-sanpo.jp/3soudan.htm>

メールによる相談も24時間受け付けております。

<http://www.okayama-sanpo.jp/form-soudan.html>

5 編集後記

編集後記（キャンペーン活動の実施）

7月2日（金）岡山コンベンションセンターにて「岡山地方産業安全衛生大会&快適・健康フェア」が開催されました。

当センターの広報活動として、参加者の方に「事業のご案内」等を資料の中に入れお持ち帰りいただき、会場内にブースを出展してパンフレット等を配布しました。詳しくは、ホームページのセンター活動行事

（<http://www.okayama-sanpo.jp/c-katudou.htm>）を御覧ください。

これからもどんどん広報活動をしていきたいと思えます。

関係団体・事業場にも無料で出向いていきますので、一声かけていただけたら幸いです。

業務係長 佐古

次回の第31号は9月1日（水）の配信予定です。

▼ メールマガジンの配信停止を希望される方、メールアドレス変更予定のある方は、こちらのアドレスからご連絡ください ⇒ (info@okayama-sanpo.jp)

▼ 教材情報・センター情報の詳細確認、利用申込等は下記のホームページURLからアクセスしてください。

▼ Eメールアドレスの変更、配信停止なども下記メールアドレスへお願いします。

▼ 著作権法の規定により、他者の著作物を私的な目的以外で複製することは禁止

されていますので、必ず守ってください。

- ▼ 当メールマガジンは、リンク先サイトの内容やプライバシーについて、責任を負うものではありません。利用者自身の責任においてご利用ください。
- ▼ このメールは配信専用メールアドレスから配信されています。このまま返送いただいてもお答えできませんので、必ず info@okayama-sanpo.jp へ御返送ください。
- ▼ バックナンバーはホームページの「メールレターを配信しています！」に掲載しております。



独立行政法人 労働者健康福祉機構岡山産業保健推進センター

〒700-0907

岡山県岡山市北区下石井 2-1-3

岡山第一生命ビルディング 12階

TEL : 086-212-1222

FAX : 086-212-1223

H P : <http://www.okayama-sanpo.jp/>

E-mail : info@okayama-sanpo.jp

